

## 最近の転落事故の発生状況

(単位:件)

平成25年度

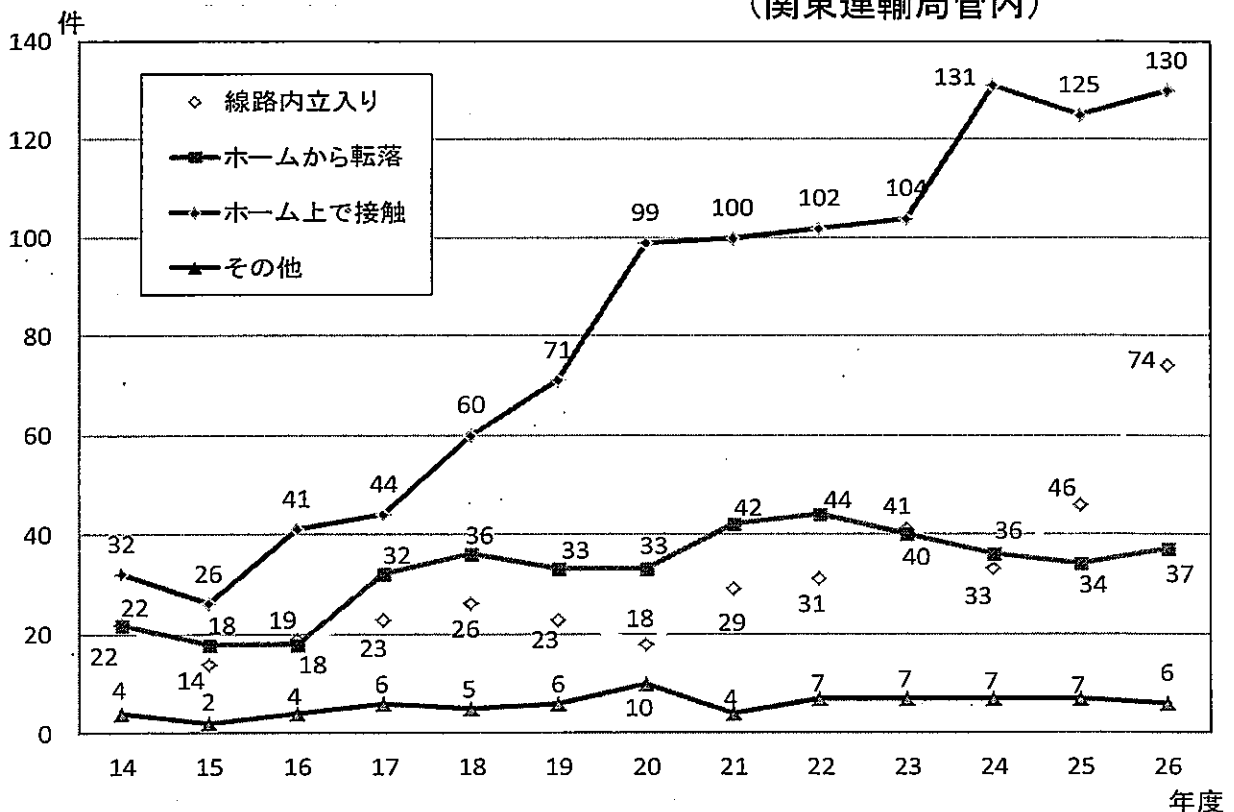
	ホームからの転落	ホーム上で接触	合計
全国	51	169	220
埼玉県	4	11	15

平成26年度

	ホームからの転落	ホーム上で接触	合計
全国	57	170	227
埼玉県	7	19	26

### 人身障害事故の原因別発生状況の推移

(関東運輸局管内)



※関東運輸局管内は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県が該当

# 「ホームドアの整備促進等に関する検討会」 中間とりまとめの概要

平成23年8月

## 1. ホームドア等の転落防止対策の優先整備駅の考え方

○視覚障害者からの要望が高い駅

・駅周辺の視覚障害者の関連施設やホームの状況等を勘案し、優先度や必要な対策等を検討

○駅の利用者数が多い駅

・利用者数1万人以上の駅で、ホームでの事故(1,253件)<sup>注)</sup>の約8割が発生

・このうち、特に利用者数の10万人以上の駅は、一駅当たりの事故発生件数(1.82件/駅)が多い

注)平成14~21年度の間ホームから転落又はホーム上で列車と接触により発生した鉄道人身障害事故件数

## 2. ホームドア等の転落防止対策の進め方

### 利用者数1万人以上の駅

内方線付きの点状ブロック等の整備を可能な限り速やかに実施

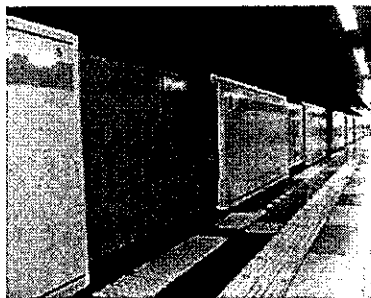
### 利用者数10万人以上の駅

○ホームの状況等(混雑度や形状、事故の発生状況等)を踏まえ、ホームドア又は内方線付き・

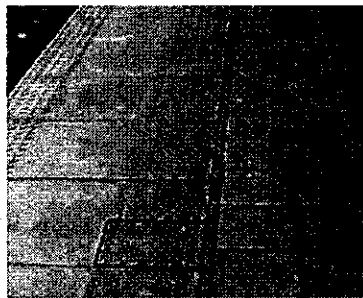
JIS規格対応の点状ブロックの整備を優先して速やかに実施(点状ブロックは概ね5年で整備)

○車両扉位置が一定である等、ホームドア設置が可能な駅は、停車時分の増加やコスト等の課題の検討を踏まえてその整備を優先。この場合、路線や区間単位による整備も検討

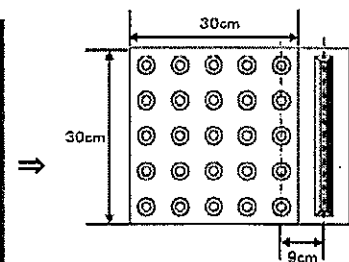
注)ホームドアの整備が困難な場合は、音声・音響・光等による列車接近警報装置や係員による人的介助等の総合的な対策を可能な限り速やかに実施し、転落防止対策の効果をより一層向上



【ホームドア】



【内方線付きJIS規格点状ブロック】



・点状突起25点(5×5)  
・ホームの内側を表示する線状突起(内方線)あり

## 「心のバリアフリー」に関するソフト施策の一体的な推進

○鉄道係員に対するバリアフリー教育、研修等の人的対応の充実

○旅客による視覚障害者への声がけやマナー、旅客のホームでの安全に関する教育啓発の強化

○駅の転落防止対策の状況等、駅に関する視覚障害者への情報提供 等

## 3. 転落防止対策の推進に対する支援

○国、地方公共団体による必要な支援

○車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなホームドア等の研究開発の推進

○国、地方公共団体、事業者等関係者の連携による視覚障害者の誘導案内、啓発活動等のソフト施策の推進

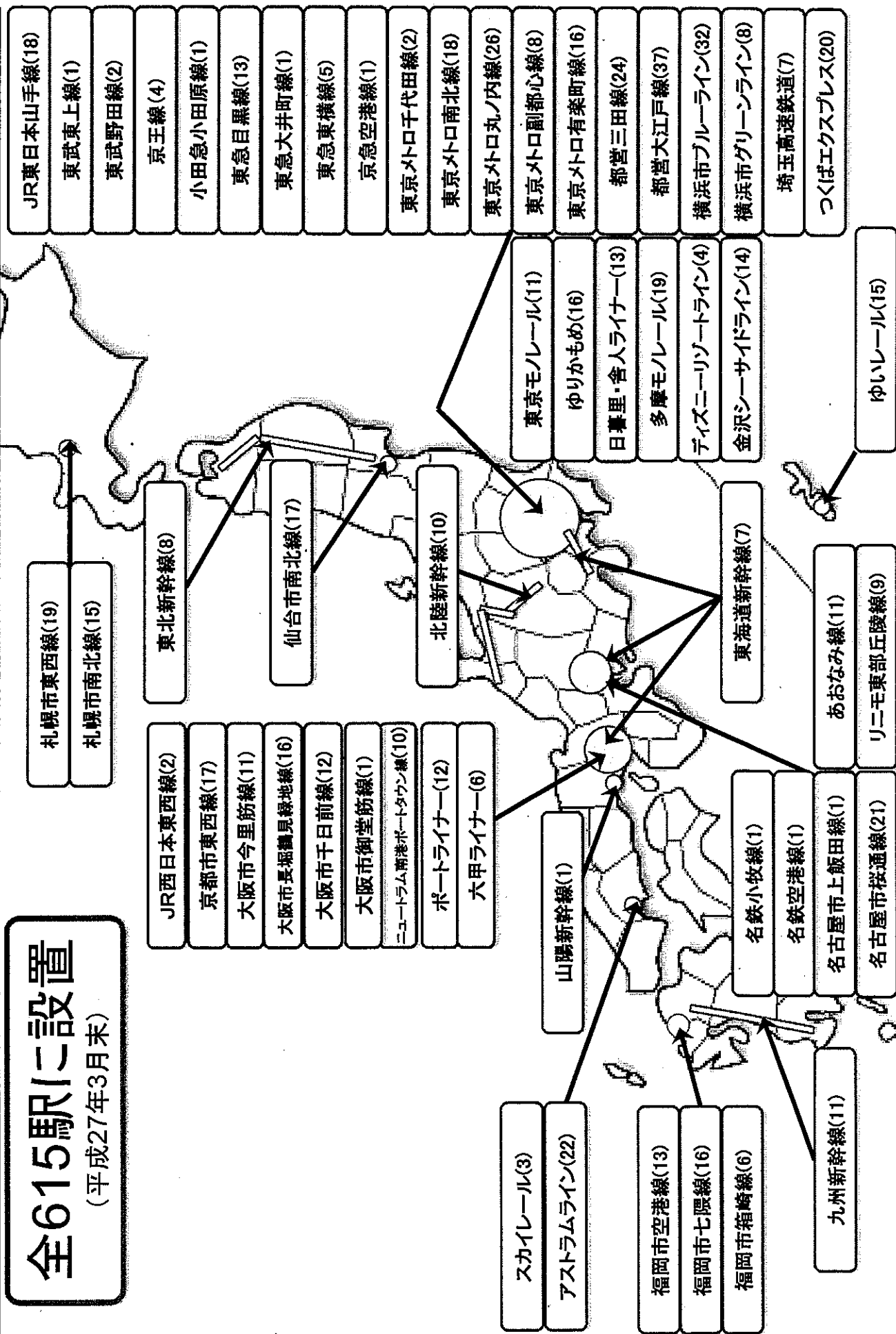
## 4. 転落防止対策に関する計画の作成・公表

○今後の転落防止対策の進め方に関する方針、計画について、事業者が安全報告書等により公表

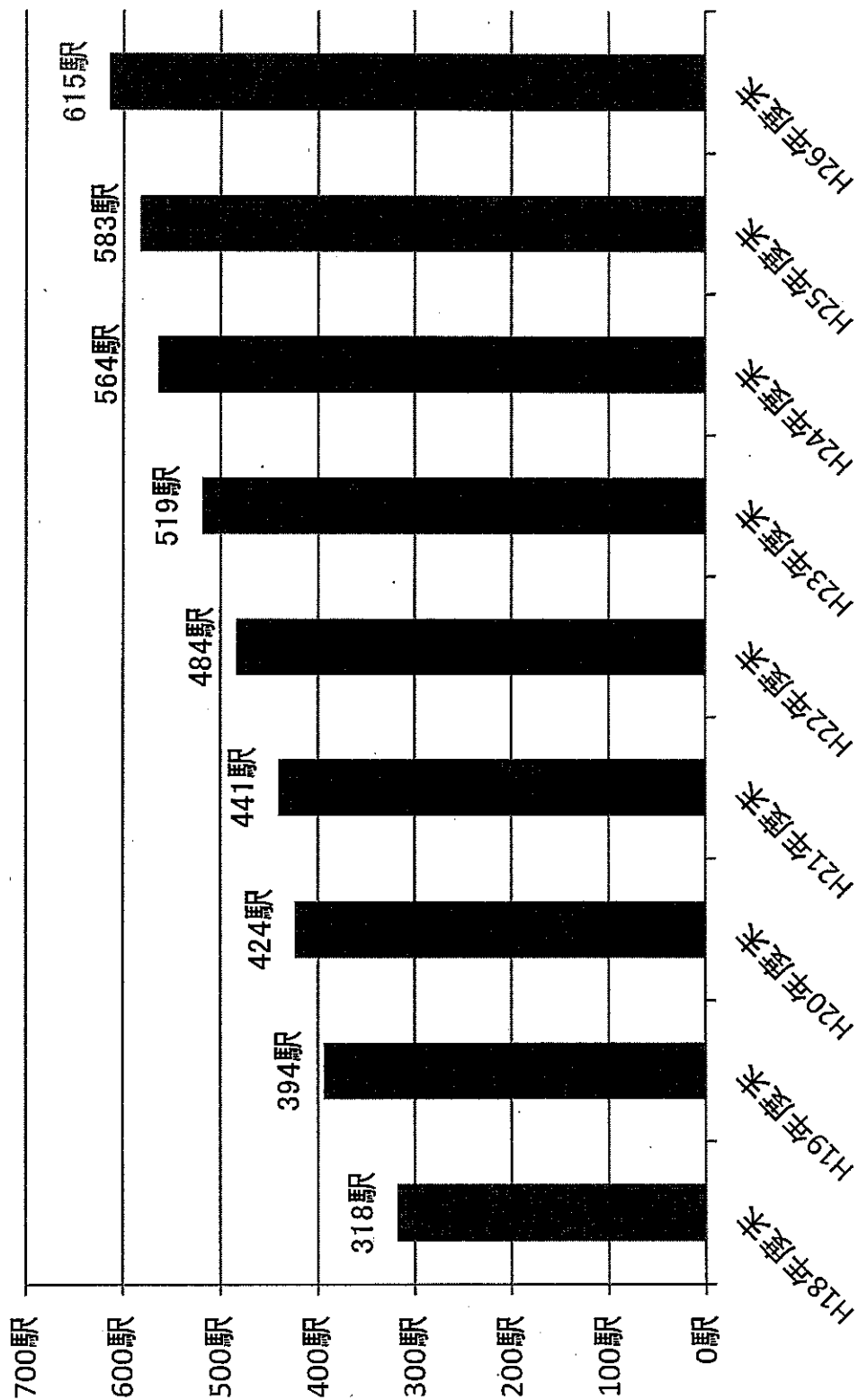
# ホームドアの設置状況

全615駅に設置

(平成27年3月末)



# 【ホームドア設置駅数の推移】



# 駅ホームからの転落防止対策

駅ホームからの転落事故が増加していることを受け、ハード対策、ソフト対策の両面から、駅の安全・安心をより効果的に促進するため以下の施策を行っています。

## ハード対策

### ホームドアの整備促進

内容

ホームドア設置のため、ホーム改良・ホームドア設置工事に対し、経費の一部を助成



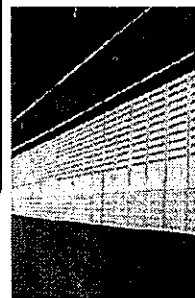
対象：東武東上線 和光市駅  
(平成27年度)

### 内方線付き点状ブロックの整備促進

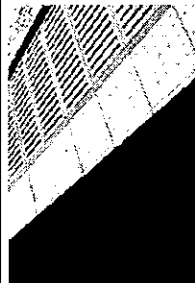
内容

内方線付き点状ブロックの整備補助を行う市町村に対し、経費の一部を助成

対象：JR高崎線上尾駅、東武伊勢崎線草加駅、西武新宿線新所沢駅、など全29駅(平成27年度)



既設の点状ブロック



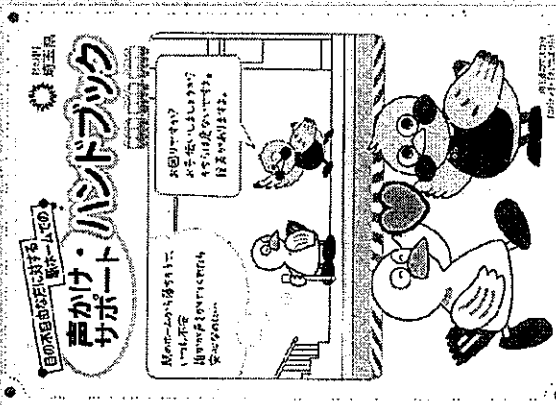
内方線付き点状ブロック

## ソフト対策

### 視覚障害者への声かけサポート啓発事業

内容

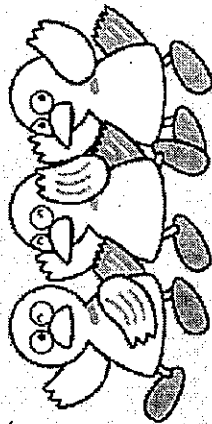
視覚障害者の駅ホームからの転落事故防止のため、各地域で声かけサポートを普及するリーダーを中心にフォローアップを実施



リーダーがサポートを養成するに当たり、養成するための資料としてハンドブックを作成。(資料2-4参照)

今後、ハンドブックを養成したリーダーに配布し、サポートの増加を図る。

フォローアップではリーダー同士での意見交換や新しく参加するサポート者に対し実技演習などを予定。



## 駅ホームからの転落防止対策会議

目的：行政と鉄道事業者が一体となり、駅ホームからの転落防止に向け情報共有や意見交換を図る。

ホームドア全駅設置に向けて

**東西線妙典駅で大開口ホームドアの実証試験を実施します**

2015年3月7日(土)から9月頃まで

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、車両のドア位置及びドア幅が異なる列車が運行されている路線へのホームドアの早期設置に向けて、ホームドア開口寸法を拡大した2重引き戸式大開口ホームドアを東西線妙典駅1番線（西船橋方面）の1開口分に設置し、機器運用及び通過列車による風圧の影響等について実証試験を実施します。

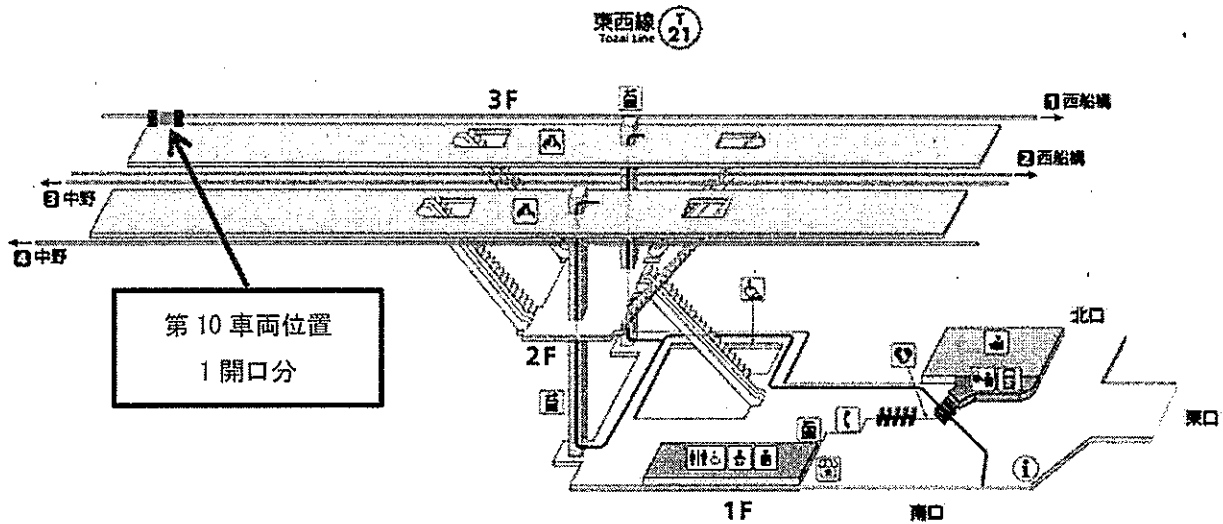
詳細については別紙のとおりです。



ホームドア設置イメージ

1 設置場所

東西線妙典駅 1 番線（西船橋方面）のりば 行徳駅方



2 東西線妙典駅情報

- (1) 所在地 千葉県市川市富浜 1-2-10
- (2) 乗降人員 46,793 人 (2013 年度実績)
- (3) ホーム形状 2面4線
- (4) 1番線のりば

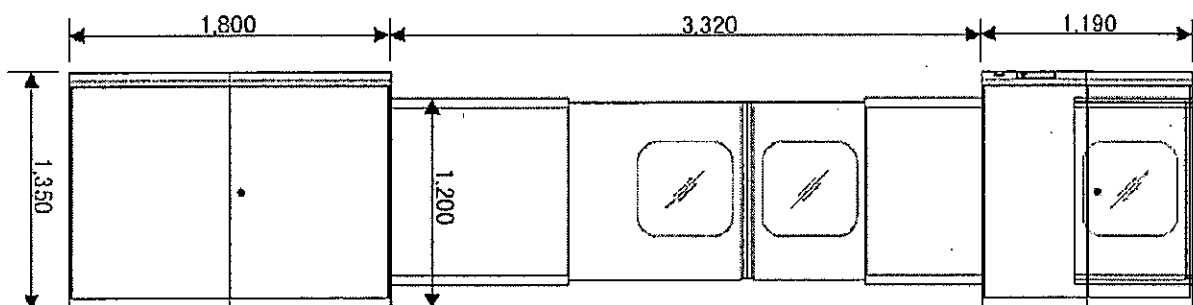
西船橋方面行きの快速列車の通過線として使用するほか、一部の各駅停車（10両編成）が停車します。

3 実証試験ホームドアの主な仕様について

項目	既存ホームドア※	2重引き戸式大開口ホームドア
高さ	1,300 mm	1,350 mm
奥行	200 mm	300 mm
開口幅	2,480 mm	3,320 mm
ホームドア閉扉時の高さ	1,200 mm	1,200 mm

※既存ホームドア仕様は、有楽町線内で設置されているホームドア。

【2重引き戸式大開口ホームドア寸法図】



2015年2月27日

## 2015年3月28日(土)より 八高線拝島駅で昇降式ホーム柵の使用を開始します

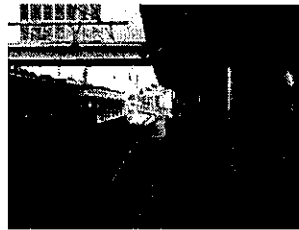
JR東日本では、ホームでのお客さまの転落、列車との接触などの防止対策の一環として、山手線等へのホームドア導入を進めています。

このたび、当社として初めての方式となる昇降式ホーム柵を八高線拝島駅において3月28日より試行導入します。

### 1. 導入箇所

八高線拝島駅上りホーム(5番線)

※編成両数分(4両編成)を整備します。



拝島駅上りホーム  
(5番線)

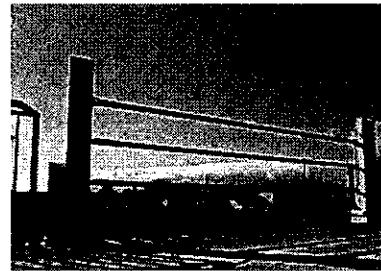
### 2. 使用開始日

2015年3月28日(土)初電より

### 3. 昇降式ホーム柵の特徴



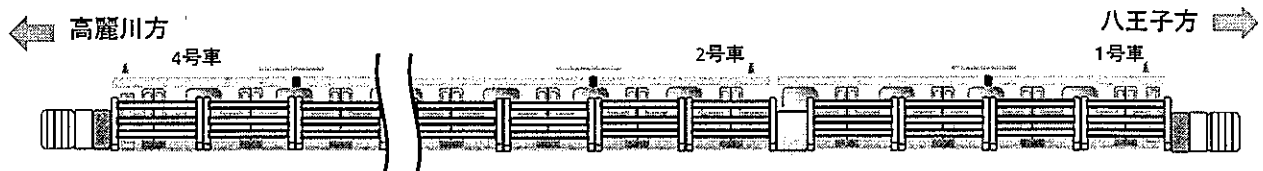
ホーム柵上昇時(イメージ)



ホーム柵下降時(イメージ)

- ・列車の発着に応じて3本のバーが昇降します。
- ・山手線のホームドアと比較して軽量であることからコストダウンが見込まれます。
- ・開口部を大きく取るため、扉位置が異なる車種などにも対応が可能になります。

### 【イメージ図】





2014年11月27日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 京浜東北線大井町駅へのホームドア導入の検討について

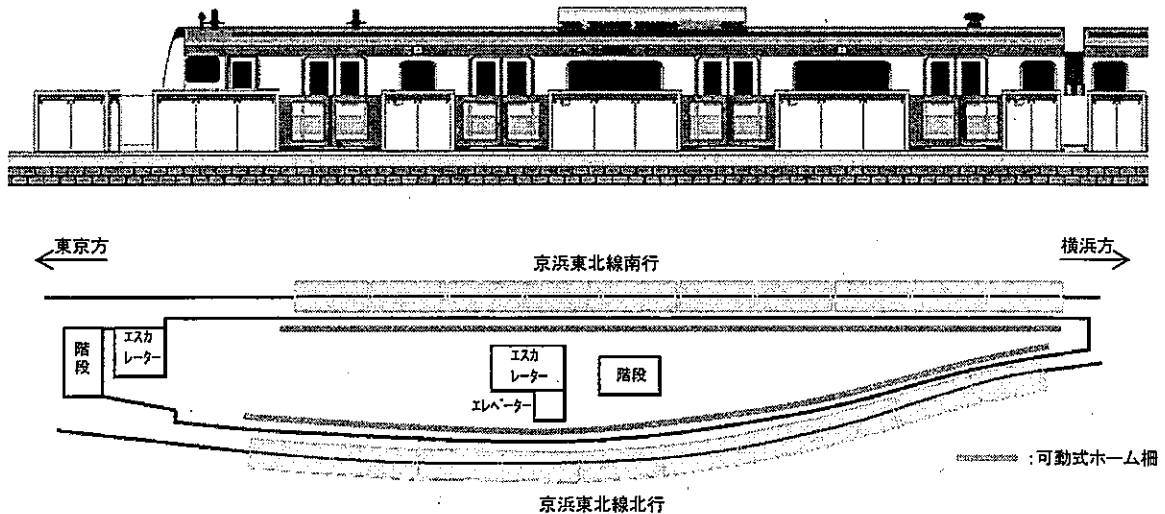
JR東日本では、ホームにおける安全対策として、山手線へのホームドア整備を進めています。また、『グループ経営構想 V ～限りなき前進～』における今後の重点取組み事項において、「ホームドア第2期整備計画の策定」に取り組むこととしています。

山手線以外の駅へのホームドア整備については、乗降人員や目の不自由なお客さまのご利用が多い駅を優先に推進していくこととし、バリアフリー法に基づく基本方針等に示された考え方を踏まえ、国及び関係自治体との協議を重ねてきました。

この度、国、東京都および品川区のご協力をいただき、京浜東北線大井町駅へのホームドア導入に関する設計を進めてまいります。

### ○検討概要

- ・京浜東北線大井町駅ホーム1面2線(10両編成分)への可動式ホーム柵の導入



<大井町駅ホームドア導入のイメージ>